

The cover features several abstract geometric patterns. In the top left, a blue and white pattern is partially visible. To its right is a yellow and brown pattern. Further right is a red and orange pattern. Below these, on the left, is a yellow and brown pattern. On the right, another yellow and brown pattern is visible. At the bottom left is a large red and orange pattern. In the bottom center is a yellow and brown pattern. At the bottom right is a blue and white pattern.

INTRODUCING
**CHRISTIAN
DOCTRINE**

THIRD EDITION

MILLARD J. ERICKSON

EDITED BY L. ARNOLD HUSTAD

内容

表紙

表題

著作権

献呈の辞

序文

第一部：導入

1. 神学とは何か
神学の本質
神学の方法
2. キリスト教のメッセージを今日化する
神学の今日的脈絡
キリスト教メッセージを今日化する
ためのアプローチ
キリスト教における永遠的要素
今日化の性質
教理の普遍性の基準

第二部：啓示

3. 神の普遍的啓示
啓示の本質
一般啓示の様式
一般啓示に関する聖書箇所
一般啓示の価値についての相違する
評価
一般啓示と人間の責任
一般啓示の意義
4. 神の特別啓示
特別啓示の定義と必要性
特別啓示の様式
特別啓示の様態
特別啓示：命題的か人格的か
命題的か、物語的か
啓示としての聖書

5. 啓示の保存：靈感

靈感の定義
靈感の事実
靈感に関する諸理論
灵感の範囲
灵感の強度
灵感についてのモデル

6. 神の言葉の信頼性：無誤性

無誤性についての諸概念
無誤性の重要性
無誤性と聖書の現象面
無誤性の定義
補助的問題

7. 神の言葉の力：権威

宗教的権威
聖霊の内的働き
権威の客観的構成要素と主観的構
成要素
聖書と理性
歴史的権威と規範的権威

第三部：神

8. 神の教理

神の内在性と超越性
属性の性質
属性の分類

9. 神の偉大さ

霊である
いのち
人格的存在
無限性
不変性

10. 神の慈しみ深い善性

道徳的特質
神の愛と正義—緊張を伴う論点な
のか

11. 神の三一性：三位一体

聖書の教え
歴史上の諸見解
三位格の権威の関係
三位一体の教理の本質的要素
類比の探究

12. 神の計画

鍵となる定義
聖書の教え
神の計画の性質
論理的優先性：神の計画か人間の
行為か
穏健カルヴァン主義的モデル
歴史に関する諸種の見解

13. 神の原初的なみわざ：創造

創造の教理を学ぶ理由
創造に関する聖書の教えの諸要素
その教理の神学的意味
創造の教理と科学との関係
創造の教理の意義

14. 神の継続的なみわざ：摂理

保持としての摂理
統治としての摂理
摂理と祈り
摂理と奇蹟

15. 悪と神の世界：一つの特別な問題

問題の本質
諸種の解決策
悪の問題を扱うための諸主題

16. 神の特別な代理人：天使

良い天使
悪い天使
天使の教理の役割

17. 人間の教理への序論

人間のイメージ
キリスト教的人間観
人間の創造についての聖書の説明
人間の創造についての神学的意味

18. 人間の中にある神のかたち

関連する聖書箇所
かたちについての諸見解
各見解の評価
かたちの本質に関する結論
この教理の示唆すること

19. 人間の構成の性質

人間の構成に関する基本的見解
聖書的考察
代替りのモデル：条件つき統一性
条件つき統一性の示唆すること

20. 罪の本質と根源

罪を論じることの困難
罪の本質に関する聖書の眺望
罪の根源

21. 罪の結果

神との関係に影響を与える諸結果
罪人への影響
他者との関係への影響

22. 罪の重大さ

罪の範囲
罪の強烈さ
原罪に関する諸説
原罪：聖書的で現代的なモデル

第五部：キリストの人格とみわざ

23. キリストの神性

聖書の教え
キリストの全き神性の信仰からの
歴史における逸脱

第四部：人間

機能的キリスト論	イエスの生涯における聖霊のみわざ
キリストの神性が示唆すること	
24. キリストの人性	キリスト者生活における聖霊のみわざ
キリストの人性の重要性	今日の奇蹟的賜物
聖書の証拠	御霊のみわざが意味すること
イエスの人性に関する初期の異端	30. 聖霊に関する近年の諸問題
処女降誕	聖霊と今日における預言
イエスの無罪性	聖霊と他の世界諸宗教
イエスの人性が示唆すること	聖霊と他の「諸霊」
25. キリストの人格の統一性	第七部：救い
本主題の重要性と困難性	31. 救いの諸概念
聖書資料	救いの諸概念が意見を異にする点
初期の誤った解釈	現代における救いの諸概念
問題解決のための他の試み	32. 救いに先立つもの：予定
「一人格における二性」の教理の	予定についての互いに異なる見解
基本的理念	解決案
26. キリストのみわざへの序論	予定が意味すること
キリストのみわざの諸段階	33. 救いの始まり：主観的側面
キリストの諸機能	有効召命
贖罪に関する多様な説	回心
27. 贖罪の中心テーマ	再生
背景的諸要素	有効召命、回心、再生が意味すること
新約聖書の教え	34. 救いの始まり：客観的側面
贖罪の基本的意味	キリストとの結合
刑罰代償説への反論	義認
代償的贖罪が意味していること	子とされること
第六部：聖霊	35. 救いの継続と完成
28. 聖霊の人格	聖化
聖霊の教理の重要性	堅持
聖霊理解の困難な点	栄化
聖霊の本性	第八部：教会
聖霊の教理が意味すること	36. 教会の本質
29. 聖霊のみわざ	「教会」という用語の基本的意味
旧約聖書における聖霊のみわざ	

教会の一致	注
教会の聖書的イメージ	裏表紙
教えられること	
37. 教会の役割と政治	
教会の機能	
教会の働きの中心：福音	
教会政治の形態	
今日のための教会政治制度の構築	
38. 教会の儀礼：バプテスマと主の晩餐	
バプテスマ：教会の入会儀礼	
主の晩餐：教会の継続儀礼	

第九部：終末

39. 導入的事柄と個人終末論	
終末論への序論	
死	
中間状態	
死と中間状態の教理が意味すること	
40. 再臨とその結果	
再臨	
復活	
最後の審判	
再臨とその結果が意味すること	
41. 千年期と患難時代についての諸見解	
千年期についての見解	
患難時代についての見解	
42. 最後の状態	
義人の最終の状態	
悪者の最終の状態	
最終の状態に関する教理が意味すること	

聖句索引

事項索引

序文

キリスト教教理とは、教会に「一度きり与えられた」信仰を学び、その関連を理路整然と整合して述べるものである。その意味において、それは不変である。しかし数多くの問いかけが教理に対して起こされてきた。それは教理というものが、時間が経過した事により起こる事象の変化に関係づけられねばならないからである。もはやかなり前のことになるのであるが、大学生の科目で本『キリスト教神学』を教科書として使用している教師たちから、きわめて専門的な記述の部分を取り除いた簡略版の要望の声を耳にしていた。

『基督教教理入門』の第一版はその結実である。この本に対する教師や学生たちの反応は、彼らの真の必要にかなっていることを確信させるものであった。年の経過とともに、学生たちの関心は変化し、新しい教理的諸問題に焦点が当てられてくる。そのとき、その必要に間に合うように『基督教教理入門』の第二版が準備された。そしてさらに近年の変化と必要に対応して待望の『基督教教理入門』の第三版が刊行されることとなった。この要約版は、『キリスト教神学』において結実した変化に対応している。

要約版『基督教教理入門』は、メイン・テキスト『キリスト教神学』を学ぶための下準備を提供し、その学びへ移行させる助けとなることが意図されている。それは、様式と概観においてメイン・テキストと同じである。そして、多くの文章、節、句がメイン・テキストのものと変えられることなく抽出・編集されている。要約版で提起されている諸課題、またここで扱われていない諸問題に関する

より広範な解説を必要とする学生や他の人々には、メイン・テキストをひも解くことが奨励される。

クラウン大学の神学と哲学の教授、L. アーノルド・ファスタッドは、メイン・テキストから精選し凝縮した第三版の要約版の原本を作成し、その後わたし（エリクソン）と幾度も親密にその完成のために協議した。近年展開されている議論についてのファスタッドの知識と大学生教育現場についての広範な経験はわたしには測り知れない価値をもたらすものであり、ファスタッドの判断はいつも賢明なものであった。一時期わたしの学生であり、今は大学関係の教育教材を作成するために共に働けることはわたしにとって大きな喜びである。この改訂版の作成を励まし、数多く助言を提供してくれたベイカー・アカデミックの編集長に感謝したい。ロバート・ハンドとアリカ・テュールヴァンダムは編集過程を通じ、この企画を見事に導いてくれた。また数ある教育者や学生から提供された意見や批評にお礼を申し上げたい。それらのものは、改訂版作成上非常に有益なものとなった。

ミラード・J・エリクソン

This abridgment of Millard Erickson's classic *Christian Theology* gives an overview of the doctrines of revelation, God, creation, providence, humanity, sin, Jesus Christ, atonement and salvation, the church, and eschatology. The third edition, now thoroughly revised throughout, takes into account feedback from professors and students and reflects current theological conversations, with added material on the atonement, justification, and divine foreknowledge.

"Clearly written and well-outlined, this book would serve as an excellent college textbook as well as being accessible to educated laypersons."

—**Warren McWilliams**, *Religious Studies Review*

"This is an outstanding introduction to theology that should become a standard undergraduate textbook. It's accessible to all general readers, and I strongly recommend it to all bookstores."

—**John Kohlenberger III**, *Bookstore Journal*

"Unhesitatingly recommended for use in Christian colleges."

—**Robert A. Pyne and Gary L. Nebeker**, *Bibliotheca Sacra*

"This prominent publication is most worthy of serious study."

—*The Baptist Standard*

"Erickson's goal was to write a brief version of his popular *Christian Theology*—with a view to providing a primer of and transition to more extended discussions of theology. As such, Erickson admirably achieved his purposes."

—**B. Dale Ellenburg**, *Mid-America Theological Journal*

"*Introducing Christian Doctrine* is a worthy book on Christian theology to be made a standard textbook for a Bible school or college course on theology."

—*Africa Journal of Evangelical Theology*

Millard J. Erickson (PhD, Northwestern University) has served as a pastor and seminary dean and has taught at several schools, including Southwestern Baptist Theological Seminary, Western Seminary (Portland and San Jose), and Baylor University. He has held numerous visiting professorships and is the author of many books. **L. Arnold Hustad** (PhD, New York University) is professor of theology and philosophy at Crown College.

